SHIGA BANK

Sustainability Design Company 未来を描き、夢をかなえる

第136期

事業のご報告

2022年4月　1日～2022年9月30日

当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。

当行は、気候変動キャンペーン
「Fun to Share」に賛同しています。

滋賀銀行

https://www.shigagin.com

発行／2022年12月　編集／滋賀銀行 総合企画部サステナブル戦略室 広報グループ　電話／077(521)2202

LINE　Facebook

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

今年は長引くコロナ禍に加え、原材料価格の高騰や急速な円安、物価上昇に見舞われました。世界経済の減速も懸念されており、事業活動には以前よりもさらに幅広い視野とスピード感のある対応が求められています。

このような状況の中、当中間期の親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比2,200万円増の119億円となりました。預金残高、貸出金残高もそれぞれ増加し、順調に推移しております。

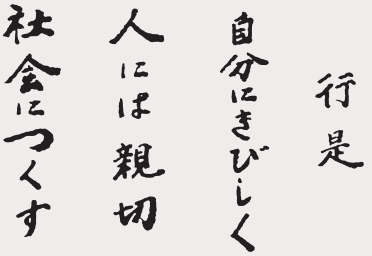
さて、当行は、「地域社会との共存共栄」を柱に、経営の健全性と透明性の確保に努めるとともに、一段と厳しさを増す経営環境や将来への投資に備えて内部留保の充実と財務体質の強化を図りながら、毎事業年度2回、株主の皆さまへの安定的な配当を継続することを基本方針としています。なお、第7次中期経営計画期間中は配当と自己株式取得合計の株主還元率40%を目安に取り組んでおり、また2022年からは株主優待制度も始めました。今後も株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの方々に貢献するとともに、当行の企業価値向上に努めてまいります。

また、地域社会との共存共栄には、喫緊の課題である「脱炭素社会の実現」に資する取り組みが欠かせません。当行は引き続き、カーボンニュートラルに貢献する商品やサービスの開発・事業展開を強化し、「課題解決型金融情報サービス業」としての役割を果たしてまいります。これからもより一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2022年12月

取締役頭取
高橋祥二郎

CSR憲章［経営理念］



私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR（企業の社会的責任）の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

地域社会との共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

TOPICS

「イナズマロックフェス2022」のカーボンオフセット開催で協力
～「未来よし+」を通じて、びわ湖カーボンクレジットを提供～

9月17日から2日間、滋賀県草津市で開催された「イナズマロックフェス2022」について、当行の寄付スキーム「未来よし+（プラス）」(※1)を通じてカーボンオフセット(※2)開催に協力しました。

「琵琶湖の水質保全と地域振興」という同フェスが掲げるテーマに賛同し、「未来よし+」を通じて、地元の森林組合などから購入したびわ湖カーボンクレジット(※3)30t-CO_2を提供し、会場で使用される電力や、会場と最寄駅を結ぶシャトルバスの運行によって排出されるCO_2を相殺しました。

※1 未来よし+
脱炭素やSDGsに貢献する金融商品の取扱実績に応じて当行が資金を拠出し、地域の脱炭素や生物多様性保全などを支援する寄付スキーム。
※2 カーボンオフセット
日常生活や経済活動において排出されるCO_2などの温室効果ガスについて、削減努力だけでは削減しきれない排出量を、カーボンクレジット等を活用して相殺する取り組み。
※3 びわ湖カーボンクレジット
国の「J-クレジット制度」を活用して、省エネや再エネの取り組みによるCO_2などの温室効果ガスの削減量および森林の適切な管理により生み出された吸収量にかかる県内産のクレジットを「びわ湖カーボンクレジット」と呼称し、県民・事業者の活用および創出を促すことで、CO_2ネットゼロにつなげる取り組みのこと。地元の造林公社や森林組合等から購入することで、その資金が更なる森林整備に充てられ、県内の森林保全、ひいては琵琶湖の保全にも貢献できる。

カーボンオフセット開催の発表時の様子
三日月大造滋賀県知事（左）、西川貴教さん（中央）と

サステナビリティ経営にファイナンスで伴走
～西川株式会社様とポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結～

当行は、持続可能な社会の実現に向けて、お取引先のサステナビリティ経営を促進するサステナブルファイナンスの取り組みを拡大しています。

9月28日、西川株式会社様と、ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)の契約を締結しました。

西川株式会社様では、ポジティブインパクトの拡大を目指す領域のテーマに「快適な睡眠による人々の健康」「睡眠改善による経済効果」を、ネガティブインパクトを低減する領域のテーマに「環境配慮への取り組み」「責任あるサプライチェーンの構築」をそれぞれ特定し、各々に目標とKPIを設定しました。当行は、定期的に達成状況や管理状況を確認し、対話やフォローアップを通じてサステナビリティ経営の実現をサポートしてまいります。

※ ポジティブ・インパクト・ファイナンス
企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響およびネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、特定されたポジティブインパクトの拡大と、ネガティブインパクトの低減に向けた取り組みをサポートする融資。

記念盾贈呈の様子（左は西川八一（やすゆき）行社長）

官民連携の取り組み
～脱炭素社会実現に向けて、湖南市と共同提案を行いました～

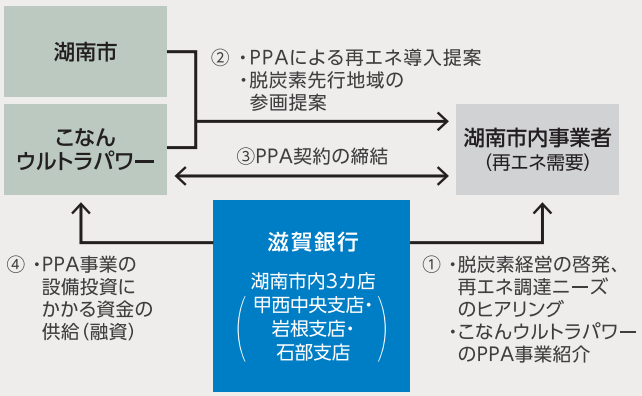
11月1日、環境省が募集する「第2回脱炭素先行地域(※)」において、当行が共同提案者として参画した「さりげない支えあいのまちづくり オール湖南で取り組む脱炭素プロジェクト」が優れた取り組みであるとの評価を受け、湖南市が脱炭素先行地域に選定されました。本件は、湖南市、滋賀県、こなんウルトラパワー株式会社様とともに共同提案を行いました。

本プロジェクトにおいて、当行は地域の脱炭素化スキーム確立のため、こなんウルトラパワー株式会社様への脱炭素化事業評価や、市内の事業者への脱炭素経営の啓発や計画策定、資金面でのサポートなどを行います。

これからも、地域社会との連携を深め、地域の脱炭素化に向けた協働を進めてまいります。

※ 脱炭素先行地域
日本の2050年カーボンニュートラルに向けて、地域の特性に合わせて、先行的にカーボンニュートラル実現をしていく地域。環境省では、2025年までに少なくとも100カ所以上の「脱炭素先行地域」をつくることを目指している。

事業の主な取り組み



第7次中期経営計画

概要 第7次中期経営計画（2019年4月～ 2024年3月）

目指す姿

「Sustainability Design Company」
～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

メインテーマ

未来を描き、夢をかなえる
～お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

未来創造 挑戦項目

- SDGsをビジネスへ
- 地域社会の生産性向上
- 課題解決型金融情報サービス業への進化
- 持続可能な収益構造への転換
- 考働改革（考え方改革、働き方改革）
- 経営基盤の充実（経営理念・人材・ガバナンス・自己資本・システム）

挑戦指標

	挑戦指標	2024年3月計画	2022年9月実績
SD目標	Sustainable Development 推進投融資	（新規投融資額累計）7,000億円	5,707億円
SD目標	地域顧客の価値向上サポート（コンサルティング相談件数）	年間2,000件	950件
SD目標	地域顧客の資産形成サポート（預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」）	3,000億円	2,137億円
SD目標	温室効果ガス排出量削減（%）（2013年度比較の削減率）	50%削減	42.08%削減（2022年3月期）
SD目標	SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動　次世代人材の育成活動	（研修等の実施人数累計）15,000人	11,527人
収益目標	親会社株主に帰属する当期純利益（連結）	最終年度100億円以上	119億円
収益目標	顧客向けサービス業務利益	30億円	26億円（※1）

※1：次世代基幹系システム開発費を除くと、40億円となります。

長期的挑戦指標	長期的指標	2022年9月実績
ROE（連結）	5%以上	5.34%
OHR	65%未満	79.18%（※2）

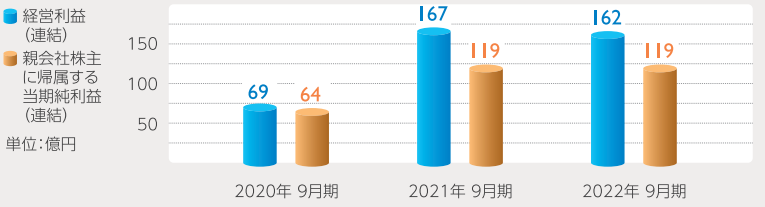
※2：次世代基幹系システム開発費を除くと、73.90%となります。

業績ハイライト

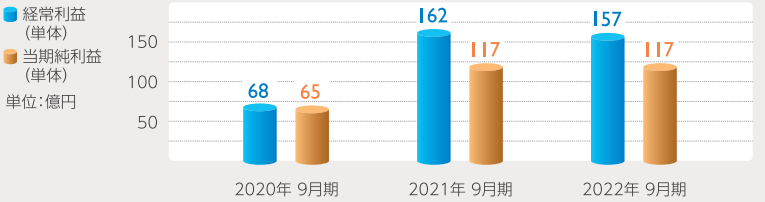
業績ハイライト（単体）

- 貸出金利息が前年同期比11億円増加、有価証券利息配当金も同18億円増加し、資金利益は同15億円増加しました。
- 役務取引等利益が前年同期比1億円減少、その他業務利益も同54億円減少し、業務粗利益は同40億円の減益となりました。
- 経費は前年同期比27億円減少したものの、実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）および業務純益はともに同12億円の減益となりました。
- 臨時損益は、株式等関係損益の増加、与信コストの減少を主因に、全体で前年同期比7億円増加したものの、経常利益は同4億円の減益となりました。一方、特別損益が同1億円増加、法人税等合計は同3億円減少しました。
- これらの結果、中間純利益は117億円となり前年同期比8百万円の微増となりました。

経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（連結）

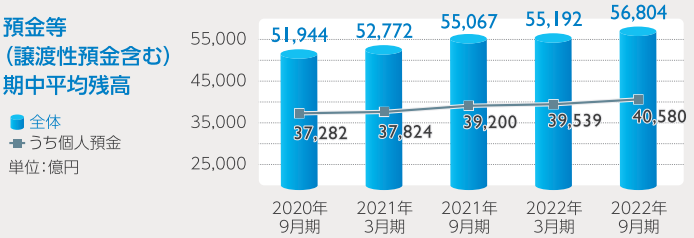


経常利益・当期純利益（単体）



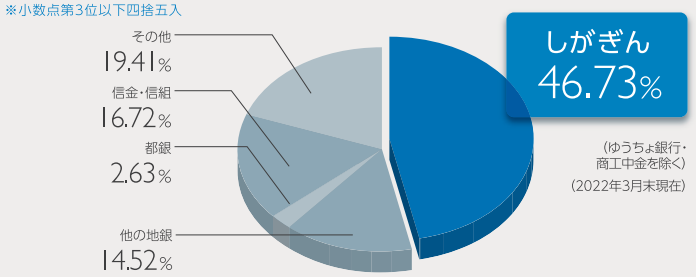
預金等

預金等（譲渡性預金含む）期中平均残高



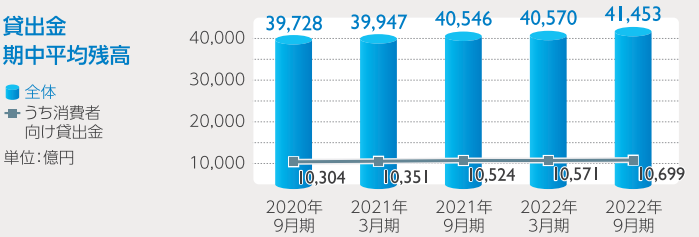
預金残高「滋賀県内シェア」

※小数点第3位以下四捨五入



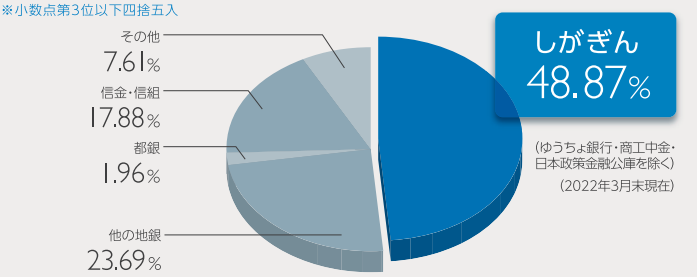
貸出金

貸出金 期中平均残高



貸出金残高「滋賀県内シェア」

※小数点第3位以下四捨五入



株式の状況

株式の状況（2022年9月末現在）

発行済株式総数	53,090千株
株主数	10,949人

大株主の状況（2022年9月末現在）

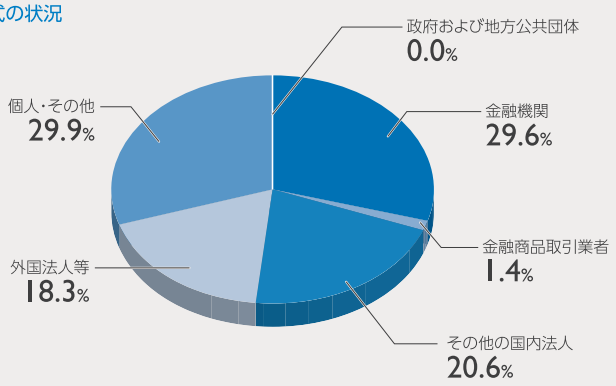
株主名	所有株式数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,825	10.08
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,809	3.77
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	1,612	3.36
日本生命保険相互会社	1,610	3.36
明治安田生命保険相互会社	1,599	3.34
滋賀銀行従業員持株会	1,231	2.57
損害保険ジャパン株式会社	1,180	2.46
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	799	1.66
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A／C NON TREATY	660	1.38
JP MORGAN CHASE BANK 385781	635	1.32
計	15,964	33.35

※当行は自己株式5,225千株（発行済株式総数に対する所有株式数の割合は9.84%）を所有しておりますが、上記大株主の状況には記載しておりません。
※持株比率は発行済株式（自己株式を除く）の総数に対する所有株式数の割合です。

株式の所有者別状況（2022年9月末現在）

※単元未満株式は含まれておりません。

● 株式の状況



株主還元方針

第7次中期経営計画期間中の配当方針につきましては、安定的な配当を継続しつつ、配当と自己株式取得合計の株主還元率40%を目安に取り組んでまいります。

株式のご案内

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

基準日

定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

公告方法

電子公告により当行ホームページ（https://www.shigagin.com/）に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

100株

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先／各種お問い合わせ先

〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部

● 各種事務に関するご照会 電話0120－094－777（通話料無料）
〔受付時間　9:00～17:00（土、日、祝日、12月31日～1月3日を除く）〕

● ホームページアドレス https://www.tr.mufg.jp/daikou/
三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取り次ぎいたします。

株式に関する各種お手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社（証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行）へお申し出ください。未受領配当金（ゆうちょ銀行の払渡期間経過後）のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

滋賀銀行データ

名称	株式会社　滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	1933年10月1日
総資産	6兆8,483億円
預金残高(※)	5兆6,623億円（譲渡性預金含む）
貸出金残高(※)	4兆2,507億円
資本金	330億円
従業員	1,982人
店舗数	133カ店（うち代理店33カ店） （2022年9月30日現在）

※期末残高を記載しています。

連結子会社（2022年9月30日現在）

会社名	主な事業内容
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務代行業務、不動産管理業務、事務計算受託業務、現金精査・整理、ATM管理業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務、有料職業紹介事業
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社	リース・投資業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
株式会社しがぎんジェーシービー	クレジットカード業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務